

平成 23 年 6 月 10 日、耕作放棄地の解消や獣害回避などを目的に、人間魚雷「回天」の基地跡のある周南市大津島で、初の試みとなる山口型放牧を開始しました。

同島には牛がないことから、今回は農林総合技術センター畜産技術部の中でも特に放牧経験の豊富な繁殖雌牛 2 頭を貸し出しました。

市では、全国公募により採用した「島おこし隊員」 3 名を中心として島の活性化を図っており、今回の放牧も、その取り組みの一環となるものです。放牧牛は島おこし隊員が中心となって管理される予定ですが、牛と触れ合ったことのない隊員の方々は、興味半分、不安半分といった様子でした。

当部では、農林事務所と連携し、島嶼部で実施している山口型放牧の普及・定着を進めていきます。

